

フロントリップスポイラー

HN0301***

品番	塗装色
HN0301070	ホワイトパールクリスタルシャイン
HN0301209	ブラックマイカ
HN0301000	無塗装品

適合車種 : TRH200V、TRH200K、KDH201V、KDH201K、KDH206V

取付・取扱説明書

この度は、FLEX製品をお買い上げ有難うございます。
本書は、フロントリップスポイラーの取付要領について記載してあります。
取付前に必ずお読み頂き、正しい取付・取扱を行ってください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

注意事項

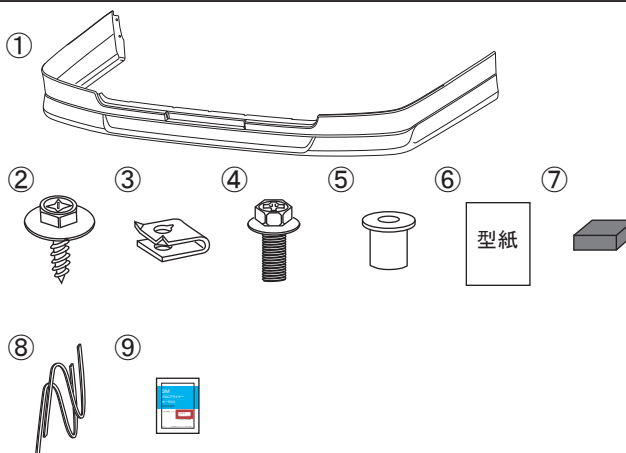
- ・開封後は、直ちに同梱内容の不足や破損が無いことを確認してください。
- ・必ずエンジンを停止し、サイドブレーキが掛かっていることを確認してください。
- ・取付前に必ず適合確認の為、車両型式をご確認ください。
- ・車両部品の取外に際して、紛失や混乱が無い様に整理して、復元する際、間違えないように保管してください。また、部品に傷を付けたりしない様に取扱に注意してください。
- ・本書で指示した部品以外は、取り外さない様にしてください。
- ・スポイラー取付部分について、汚れ、ゴミ、ホコリを必ずウエス等で拭き取ってください。
- ・両面テープを貼付部分は、必ず脱脂してください。
脱脂作業を怠ると、両面テープが剥がれる可能性があります。
- ・両面テープの接着剤促進剤として、必ず両面テープ貼付部分にPACプライマーを塗ってください。
※塗布後、常温で10分以上放置し乾燥させてください。
- ・両面テープは、外気温15℃以下になると接着剤が低下しますので、両面テープ及び接着面をドライヤー等で温めてから貼付作業を行ってください。
- ・ボディーコーティングが施されている車両は塗装用コンパウンドでボディーコートを剥がしてください。
ボディーコート除去後は、アルコール等で脱脂を行ってください。
- ・本製品の加工、組付不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんのでご了承ください。

構成部品

部品名称	個数
①フロントリップスポイラー	1
②タッピングスクリュー	2
③Jナット	2
④M5ボルト	4
⑤ウェルナット	4
⑥型紙	1
⑦クッション	2

無塗装品のみ

⑧モール 黒/グレー	各 1
⑨PACプライマー	1



使用工具

- ・クリップリムーバー ・ドリル Φ3 Φ7 Φ9.5 ・スパナ ・プラスドライバー ・キリ
- ・トルクレンチ ・ハサミ ・カッター ・マスキングテープ ・ウエス
- ・イソプロピルアルコール (IPA) または ホワイトガソリン

I 無塗装品の塗装手順

下記は、無塗装品 (HN0301000) の塗装作業を記載しています。

下記要領に従い、作業を行ってください。

1、モール貼付面、両面テープをマスキングする。

2、製品をボディ色で塗装する。

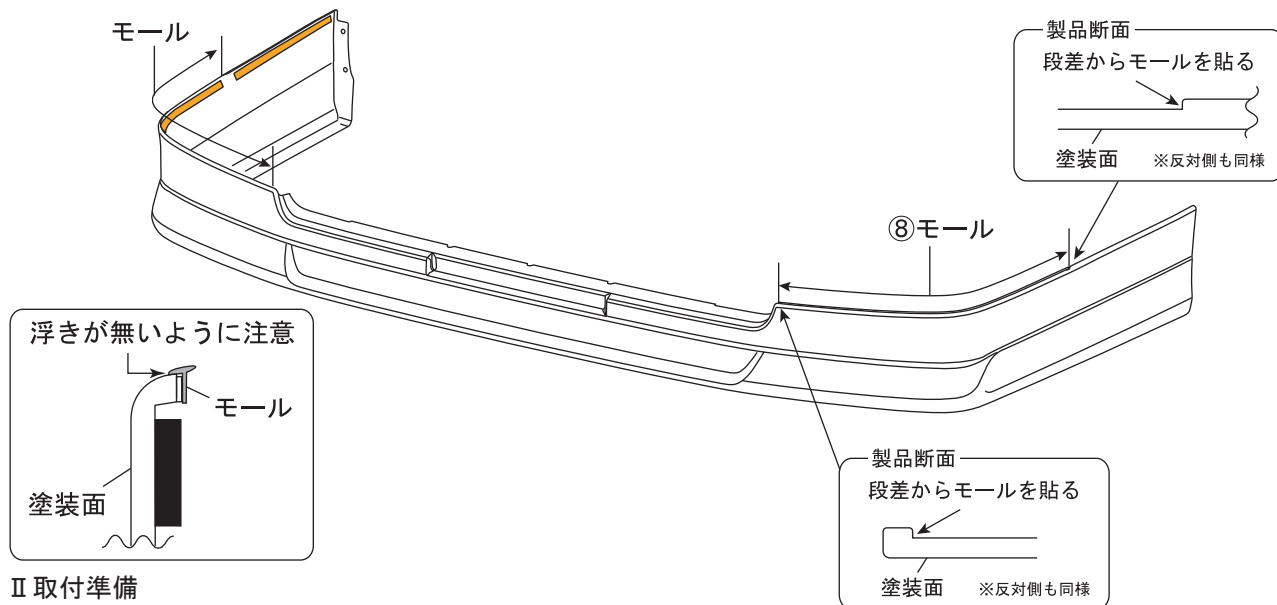
3、乾燥を行う。

※乾燥温度の上限は、60℃です。60℃以上に加熱すると変形する恐れがあります。

4、⑧モールの貼付け。

※モール貼付前に貼付部の汚れを取除き、脱脂し、⑨PACプライマーK-500を塗布する。

脱脂はイソプロピルアルコールもしくはホワイトガソリンで行ってください。



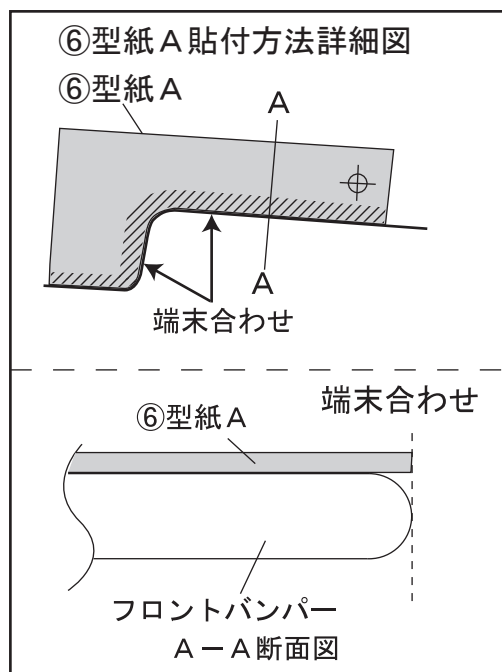
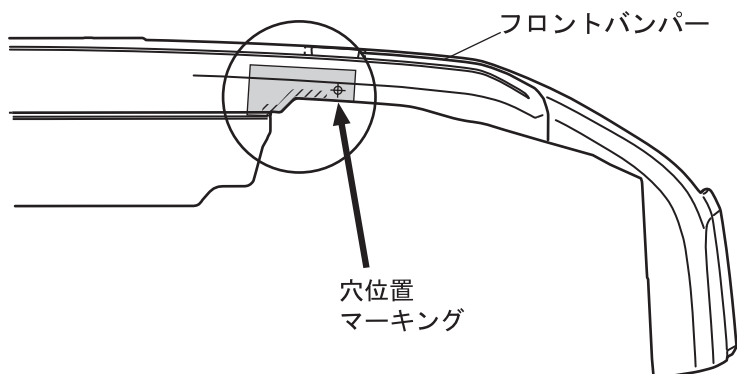
II 取付準備

1、⑥型紙A・Bをハサミやカッター等で切り取ってください。

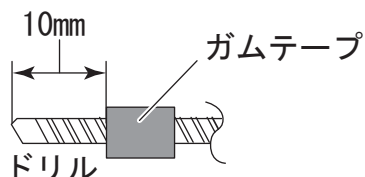
2、⑥型紙Aをバンパー端末に合わせて貼付けます。

3、⑥型紙Aの穴開け位置をキリ等でマーキングします。

4、RHも同様に行ってください。

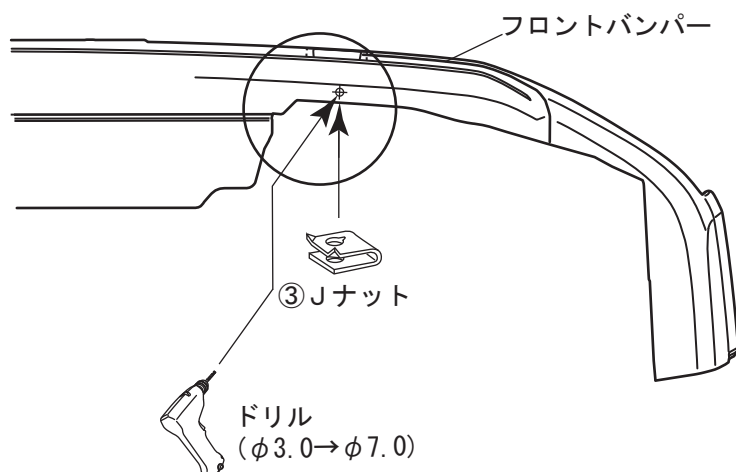


- 5、⑥型紙Aを剥がし、マーキングした位置をドリルΦ3⇒Φ7で穴を開けてください。
※ドリルの先端10mmの位置にストッパー用にガムテープを巻いてください。

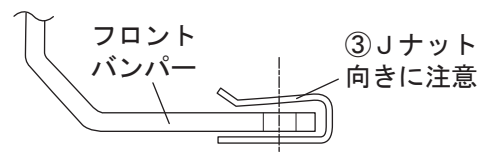


- 6、開けた穴に③Jナットを差込んでください。
※穴開けした箇所にバリ等がある場合は、取付の妨げとなるため、取除いてください。

- 7、RHも同様に行ってください。



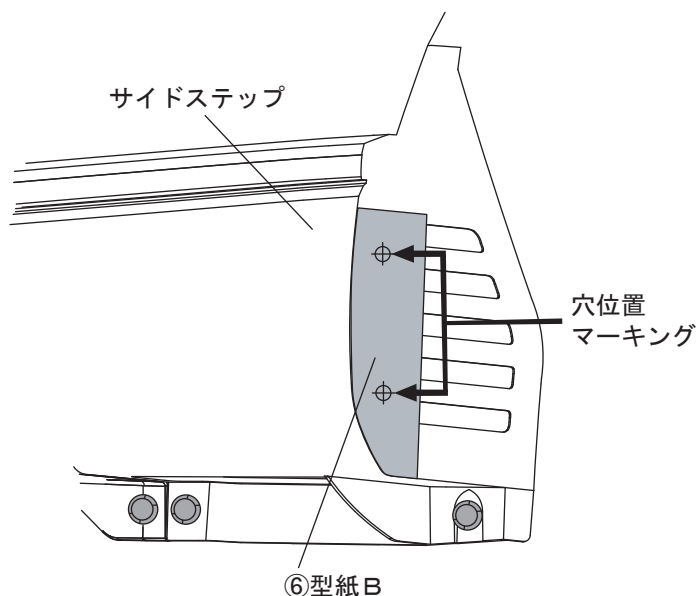
③Jナット取付方法詳細図



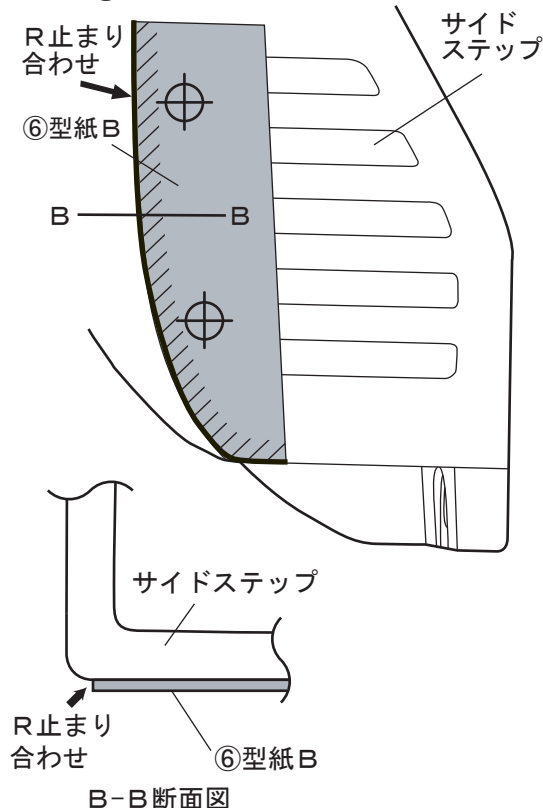
- 8、⑥型紙Bをサイドステップのフェンダーアーチ部に合わせて貼付けます。

- 9、⑥型紙Bの穴開け位置をキリでマーキングします。

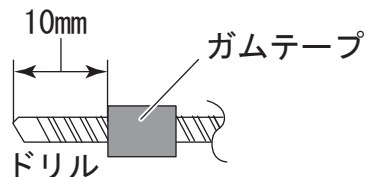
- 10、RHも同様に行ってください。



⑥型紙B貼付方法詳細図

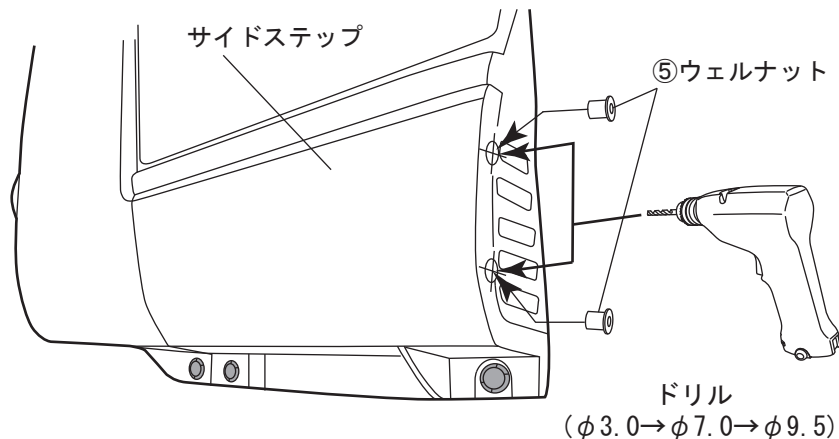


- 1 1、⑥型紙Bを剥がし、マーキングした位置をドリルΦ3⇒Φ7⇒Φ9.5で穴を開けてください。
※ドリルの先端10mmの位置にストッパー用にガムテープを巻いてください。

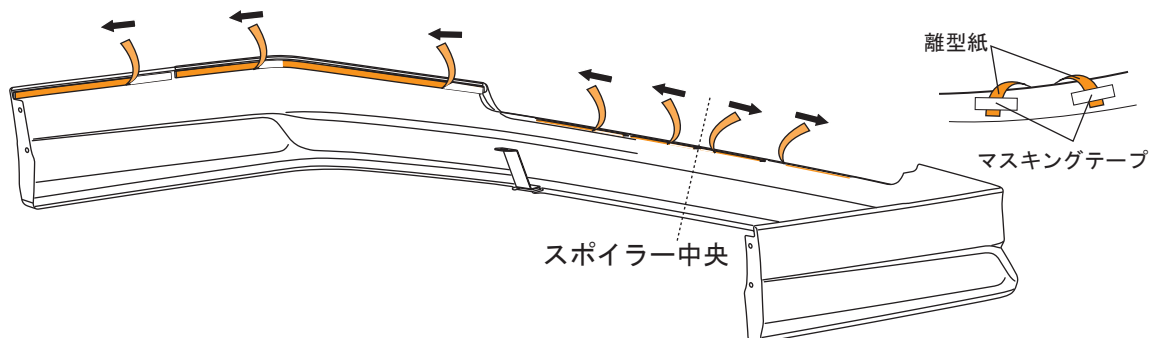


- 1 2、開けた穴に⑤ウェルナットを差込んでください。
※穴開けした箇所バリ等がある場合は、取付の妨げとなるため、取除いてください。

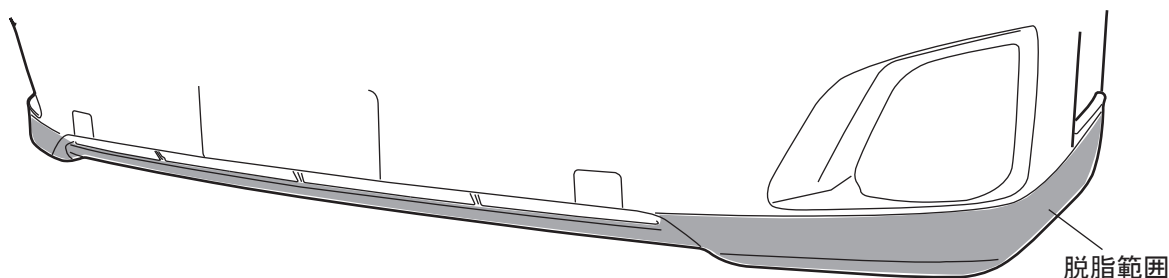
- 1 3、RHも同様に行ってください。



- 1 4、①フロントリップスポイラーに貼付けてある両面テープの離型紙を下図のようにスポイラー中央から外側に向かって30mm剥がし、スポイラー表面に折り返してマスキングテープで仮留めしてください。

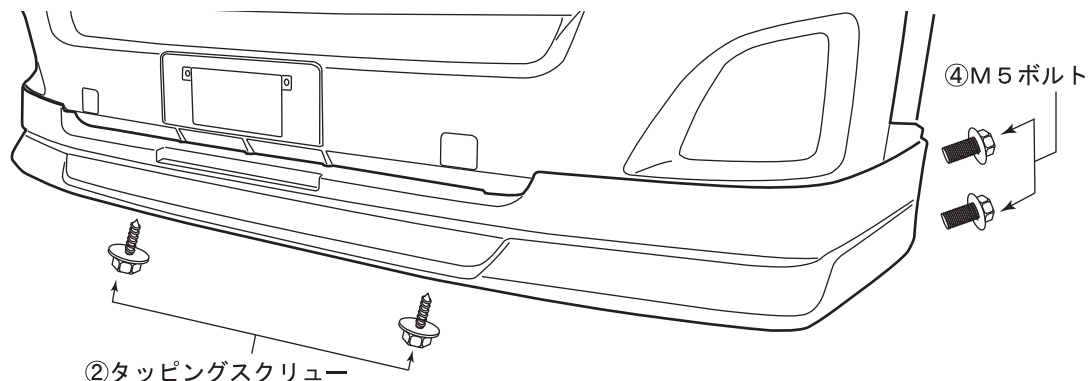


- 1 5、①フロントリップスポイラー取付部の汚れを取除き、イソプロピルアルコール又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂をする。
※ボディーコーティングが施されている場合は、塗装面に傷を付けないように、塗装用コンパウンドで除去した上で、必ず脱脂をしてください。
※脱脂を行う際、上記以外の溶剤を使用しないでください。油分が残り、両面テープが剥がれる原因になります。

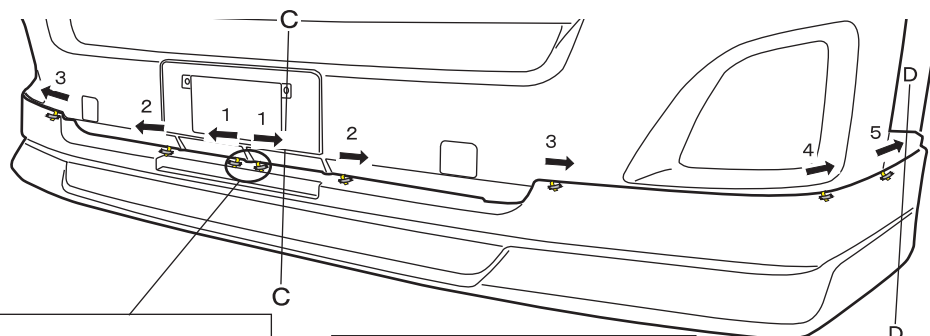


Ⅲ スポイラー取付

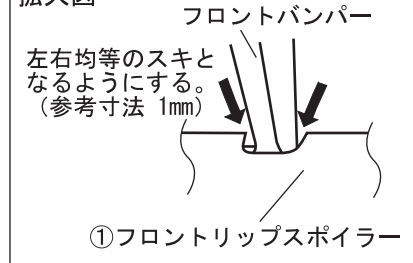
- 1、①フロントリップスポイラーを車両バンパーへ被せます。
- 2、①フロントリップスポイラーのブラケットを②タッピングスクリューで仮固定します。
- 3、サイドステップ部に④M5ボルトを仮固定します。



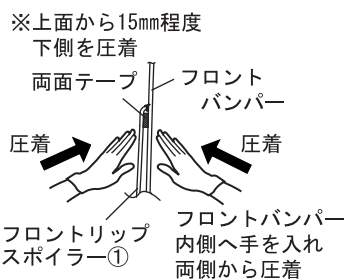
- 4、①フロントリップスポイラーの端末と車両バンパー開口部端末が揃う様に合わせます。
- 5、車両バンパー開口部の柱と①フロントリップスポイラーの溝との隙間が左右均等になるように合わせます。
- 6、サイドステップの溝に①フロントリップスポイラーを差込ます。
- 7、両面テープの離型紙を順番に従って引き抜きながら圧着 (5 k g f 以上) をします。
- 8、仮固定していた②タッピングスクリューと④M5ボルトを本締めします。



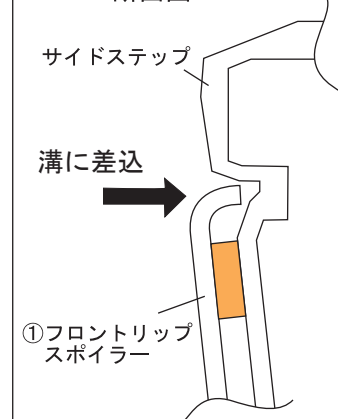
拡大図



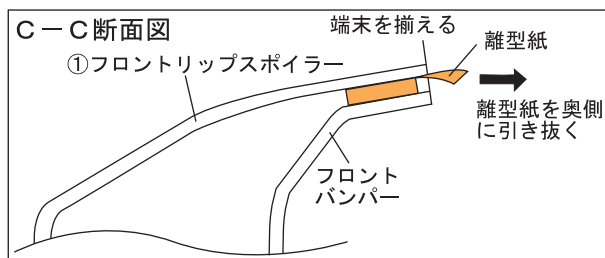
圧着詳細図



D-D断面図

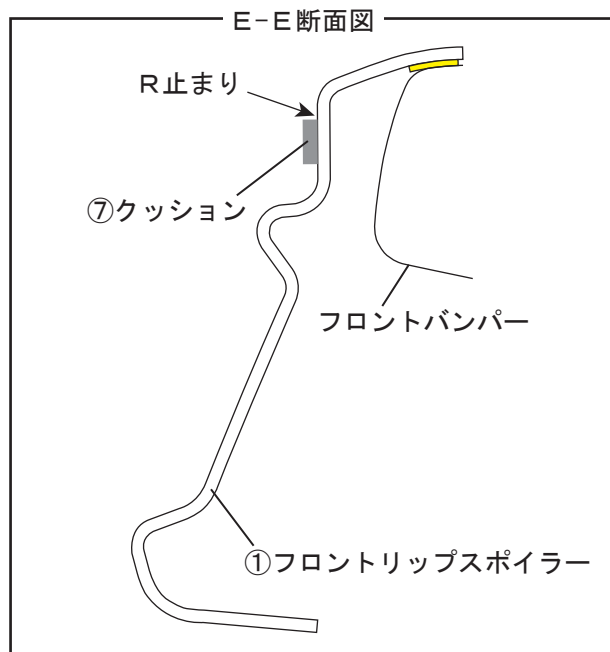
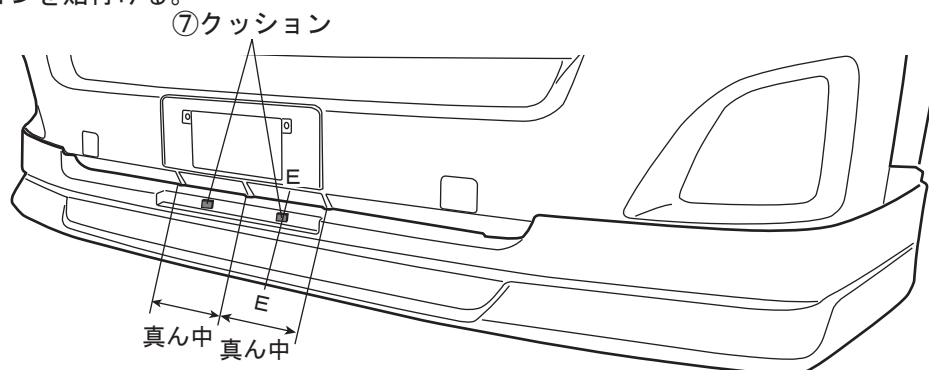


C-C断面図



IV クッション貼付

- ⑦クッション貼付部の汚れを取除き、イソプロピルアルコール又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂をする。
※脱脂を行う際、上記以外の溶剤を使用しないでください。油分が残り、クッションが剥がれる原因になります。
- ⑦クッションを貼付ける。



⑦クッション貼付位置

横方向：フロントバンパーの棧と棧の真ん中
(上図参照)

縦方向：①フロントリップスポイラー凸部のR止まり
(E-E断面参照)

V 取付完了後の点検・注意事項

- フロントリップスポイラー及び車両バンパーがタッピングスクリュー及びボルトにて、確実に取付られているか点検をする。
- フロントリップスポイラー及び車両部品に傷を付けていないか点検をする。
- 製品全周に渡り、浮き・剥がれが無い点検をする。
- 縁石・輪留め・段差等に接触しやすくなっていますので、走行中もしくは駐車時には接触しないように十分注意してください。接触しますと、傷付き・変形・破損・脱落、それに伴うスポイラー等の破損の原因となります。
- 雪・轍の中の走行や足を掛けたりするとスポイラーの傷付き・変形・脱落、それに伴う車両等の破損原因になります。
- 両面テープ接着後24時間以内は洗車・雨等は避けてください。両面テープが剥がれてしまう原因になります。
- ご使用中に生じた傷や塗膜の変色、剥がれなどの外観上のクレームについては応じかねます。